

第2章 取組段階における事例

本章では、構想、調査、計画、設計、施工、維持管理の取組段階ごとに実施事例を整理しています。

V. 施工

事例の施工編では、工事前の生物を一時的に移動した事例を整理しています。

注) 地区事例は、実際に取組を行う際に参考となる考え方を紹介したものです。
あくまでも1例であることから、画一的に適用しないように留意してください。

1 本工事施工前の生きものの一時的移動の事例 ～下塩地区（経営体育成基盤整備事業）長岡市～

(1) 目的

- ホタルの幼虫の捕獲作業を地域の子供たちと一緒に行う事で、地域住民に自然の大切さを感じてもらおうとともに、ホタルの基礎知識について地域住民を交えて学習会を行い、施設の維持管理等について意識醸成

(2) 効果

- 工事による生物への影響を軽減することが可能
- 地域住民の意識を高めることができる可能

(3) 参加について

- 参加者は、県、市町村、農協、地域住民、民間業者で30名程度（うち子ども10名程度）
- 住民参加を呼びかけるため、チラシを作成し、地域住民へ配布



作業風景

【準備したもの】

小型のタモ網、バケツ、観察用のバット

(4) 実施時期

- 4月中旬

ゲンジボタルの幼虫は4月末から5月初めくらいに上陸して土中にサナギをつくることから、避難のために採捕できるのは4月中旬であり、サナギになる直前が一番幼虫も大きくて見つけやすい時期

(5) 実施方法

- 一カ所に集まらないように水路に広がって行うことで、ゲンジボタルだけでなく色々な生き物を捕獲することが可能

(6) 留意点

- A地点の生き物を同様の環境のB地点に移動することは、B地点のバランスを崩すことになるため、注意が必要であり、むやみに近くの川や水路に移動させればよいというものではないことを認識する必要
- 移動させることができる場所かどうか、事前に確認することが必要

(7) 工夫点

